

## 〔特別展覧会〕

聖徳大学人文学部外国語学科開設記念

# 外国語に訳された日本昔噺

—ちりめん本の美しさ—



### ご あ い さ つ

このたび、聖徳大学人文学部外国語学科開設にあたり、本学で所蔵している、ちりめん本の中から、英語をはじめ各国語に翻訳された「日本昔噺」を公開いたします。

ちりめん本は、明治の初めから中頃にかけて我が国の童話や昔噺を各国語に訳して長谷川武次郎が発行した小冊子で、小泉八雲らが英訳したものも含まれています。和紙を利用したこれ等のちりめん本は、百年以上の年月を経てもなお劣化しないで、その印刷が極めて鮮明であり、そのあたたかさが感じられます。ちりめん本の持つ美しさもさることながら、この機会に各国語に翻訳された我が国の昔噺をとおして、相互の固有な文化を理解する一助になればと考えております。また、ちりめん本は児童文学を比較研究する上でも重要な資料として注目されております。

明治時代という激動の時に、我が国は文化の欧米化（文明開化）と産業の近代化（殖産興業）を急速に進め、社会の基盤づくりを図りましたが、一方ではこうしたちりめん本を発行する事により、日本文化の海外への普及を図っています。そこには、お互いを尊重しながら理解を深めることが基本理念となっています。本学の建学の“和”の精神もまた相手を理解することが基本となっており、やがて創立70周年を迎えようとしております。

この展示をとおして、国際的な相互理解がますます深まることを願っています。

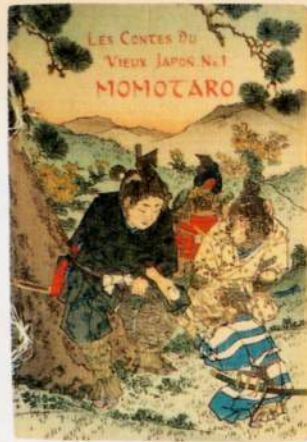
平成14年8月

学校法人東京聖徳学園理事長  
聖徳大学学長  
聖徳大学短期大学部学長  
学園長 川並弘昭





英語版(初版本)(15.0×9.6 cm)  
デイヴィッド・タムソン訳  
1885(明治18)年9月発行

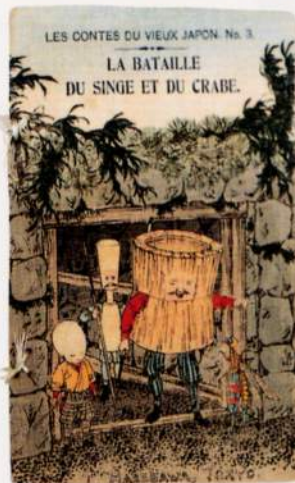


フランス語版(初版本)(15.0×10.2 cm)  
エブラル訳  
1886(明治19)年12月10日発行

## 桃太郎

桃から生まれた男の子を主人公にした物語で、その内容は川から流れてきた桃をお婆さんが拾い、その中から誕生した桃太郎が犬、猿、雉を家来にして鬼ヶ島へ行き鬼を退治し、宝物を持ち帰るとなっています。第二次世界大戦以後、児童の絵本などによって広く普及しましたが、犬、猿、雉を従える代わりに臼、蜂、栗、牛の糞などの助けを借りて鬼退治をするという「猿蟹合戦」に似た内容のものもあります。

我が国で最も人気の高い昔話の一つと言えるでしょう。



フランス語版(初版本)(15.0×9.4 cm)  
ドートルメール訳  
1885(明治18)年11月2日発行

## 猿蟹合戦

猿が蟹から柿の種を騙し取り、蟹が栗、蜂、臼などの助けを借りて猿に仇を討つという、動物の合戦譚の一つです。

明治中期の尋常小学校の教科書に収められている「猿蟹合戦」では、栗の代わりに卵となっていますが、明治後期以降になってから、卵から栗に変えられて現在にいたっているようです。ちりめん本では、表紙の絵からも分かるように卵が活躍します。同様な話は、アジアからヨーロッパにかけて幅広く存在しています。



英語版(初版本)(15.0×9.8 cm)  
デイビット・タムソン訳  
1886(明治19)年9月29日発行

## かちかち山

江戸時代に滝沢馬琴(1767-1848)の「燕石雑志」の中に「兎の大手柄」という題名で有名になった物語の一つです。かなり残酷な内容にもかかわらず、勧善懲悪の教訓話として流布しました。

「かちかち」という名は、兎が狸の背負った柴に火をつける時の火打石\*1の音を、かちかち山のかちかち鳥の声だと偽って言うところからきていますが、ちりめん本の訳では脚注に説明があり、かちかち山だから音がするのしか書かれていません。

\*1: 火を起こすために必要な緻密で石英質な石



スペイン語版(初版本)(15.3×10.6 cm)  
1885(明治18)年8月17日発行

## 舌切雀

お婆さんが糊を食べてしまった雀を怒ってその舌を切ってしまう、その報いをお婆さんが受けるという物語は、昔話によく見られるモチーフです。

お爺さんが雀のお見舞いへ行く途中で、牛や馬の血、洗った水を飲まされるなどの様々な困難を乗り越えるという話がありますが、このちりめん本には書かれていません。

### 五大日本昔話

●ふるくから語り継がれてきた昔話の中で、「桃太郎」、「舌切雀」、「猿蟹合戦」、「かちかち山」、「花咲爺」は特に有名です。これらは一般に「五大日本昔話」と呼ばれていて、我が国を代表する五つの昔話となっています。





英語版(初版本) (15.0×10.0 cm)  
デイヴィッド・タムソン訳  
1885(明治18)年10月1日発行



英語版 (15.0×10.0 cm)  
デイヴィッド・タムソン訳  
1886(明治19)年9月29日発行

## はな さか しい 花 咲 爺

正直者のお爺さんが我が子のようにかわいがっていた犬によって次々に幸運に恵まれるという物語です。正直者のお爺さんの幸運と隣に住んでいる欲張りなお爺さんとの不幸が交互に繰り返されて展開する構成になっています。この昔噺の原典は「雁取爺がんとりじい」と言われています。これは枯れ木に花を咲かせる所が、灰を撒くと飛んでいる雁の目に入り雁を捕まえることができるというものです。

中国、韓国ではお爺さんではなく兄弟が主人公になっているのが一般的です。明治以降に、教科書、童話、絵本などによって広く普及しました。



英語版(初版本) (15.0×9.5 cm)  
チェンバレン訳  
1886(明治19)年11月発行

## やまた おろち 八頭の大蛇

頭と尾が8つずつある大蛇を須佐之男命が退治したという物語は「古事記」や「日本書紀」に書かれています。蛇は神の化身であり一般に水の神として信じられていたため「八頭の大蛇」は、古代の出雲地方の河川を氾濫させ洪水を引き起こして大きな被害をもたらすものと思われていました。その蛇を退治し治水を行った英雄が須佐之男命です。

英雄が怪物を退治し、生贄いけにえの娘を助けて娘と結婚するという人身御供譚は、アジアからヨーロッパにかけて流布していて、ギリシャ神話のアンドロメダ姫を助けた勇者ペルセウスの話は有名です。



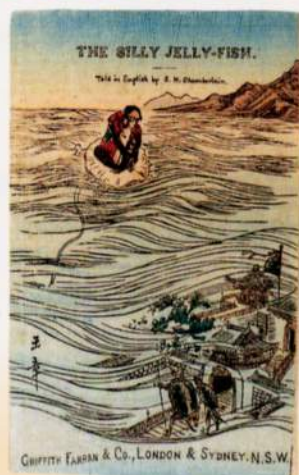
英語版(初版本) (15.0×9.5 cm)  
ジェームス夫人訳  
1886(明治19)年12月発行

## まつ やま かがみ 松 山 鏡

鏡に映る自分の姿を亡き母親の顔だと思っていたので、鏡ばかり見ている娘を継母がいじめていましたが、ある時娘の心が分かり仲直りをしたという物語です。

当時大変珍しかった鏡によって誤解を招くという話は「尼裁判」とも呼ばれ、世界的な広がりを持っています。これは、殿様から鏡をもらった武士の話で、鏡にうつる自分の顔を死んだ父親だと思い込んでしまったために生じる妻の誤解です。そこへ尼がやってきて、鏡を見ると尼が映っていたので「みんなが喧嘩するので尼になってしまった」と言い、夫婦喧嘩がおさまったという話です。

インドにも同様な物語があります。



英語版(初版本) (14.9×9.5 cm)  
チェンバレン訳  
1887(明治20)年2月17日発行

## くらげ 海 月

竜宮の奥方の病を治すために猿の生き肝が必要になり猿を騙して一度は竜宮に連れてきますが、海月が猿に真相を話したために猿は逃げてしまいます。おしゃべりな海月はその罰として骨を抜かれてしまい、現在のような姿になったという物語です。この他に、タコや亀が登場するものがあり、我が国に流布しています。

原典はインドと見られ、中国から我が国に伝えられたものと考えられています。東ヨーロッパでも知られていて、アフリカ、南アメリカにも同様な昔噺があります。





フランス語版 (15.0×10.1 cm)  
ドートルメール訳  
1897 (明治30) 年3月3日発行

うらしま たろう  
**浦島太郎**

日本の伝説、説話などの中で最も古くから記録されている物語で「万葉集」に書かれています。

動物報恩、異郷への訪問、タイムスリップなどをテーマとする伝承的な昔噺として全国的に流布し、伝説となって浸透しています。近世では浄瑠璃じょうるりとして、近代(明治43年)以降は国定国語教科書にも取り入れられ、演劇でも親しまれ、現代の絵本にもなって読まれ続けています。



英語版(初版本) (15.0×9.8 cm)  
ジェームス夫人訳  
1886 (明治19) 年12月発行

いなば しろうさぎ  
**因幡の白兔**

「古事記」に書かれている物語ですが、当時の民話的、風土記的な説話と大国主命おおくにぬしのみことの神話とが結びついてできた昔噺と考えられています。近代でも童話の素材としてよく知られています。登場するワニについては、現在ではワニザメではないかと言われてますが、ちりめん本ではワニとされています。

小鹿や猿がこの兔と同様にしてワニを並ばせ騙して島に渡るといふ話は、インド、スリランカ地方に広く分布しています。もともとは南方系の民譚だったようです。



英語版(初版本) (15.0×9.5 cm)  
ヘボン訳  
1886 (明治19) 年6月発行

こぶと  
**瘤取り**

顔に瘤のあるお爺さん二人が、鬼の前で踊り、その上手下手で瘤を取ってもらったり、余計に付けられたりする物語は、明治期の著名人でヘボン式ローマ字の生みの親でもある、ジェームズ・カーティス・ヘボン(ヘップバーン)(James Curtis Hepburn:1815-1911)博士により英訳された唯一のものです。

ヘボンは、我が国で最初の和英辞書「和英語林集成」を編纂し、この辞書は日本語を学びたい外国人や英語を学びたい日本人に広く使われました。この辞書に使用されたローマ字綴りが後世にヘボン式と言われるようになりました。



英語版(初版本) (15.5×10.5 cm)  
チェンバレン訳  
1887 (明治20) 年9月28日発行

たわらのどうた  
**俵藤太**

大きな百足を退治した俵藤太むかでとは藤原秀郷ふじわらのひでさとの事で、朱雀天皇(923-952)の時代の実在の人物です。

この物語は明治期の我が国の近代的国語研究の開拓者となったバジル・ホール・チェンバレン(Basil Hall Chamberlain:1850-1935)が英訳しました。この他に「八頭の大蛇」、「海月」、「浦島太郎」などがチェンバレンによる作品です。チェンバレンは、「古事記」の英訳(1883)なども行い、北海道、琉球(沖縄)をはじめ、伊豆半島、箱根、松江、鹿児島など各地をくまなく歩いたことでも知られています。外国人旅行者のために「日本旅行案内」も発行しています。



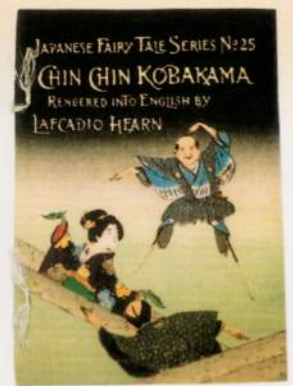
化け蜘蛛 (左) : 古寺に住んでいる化け蜘蛛を侍が退治するという物語

ちんちん小袴 (右) : 怠け者の娘を妖精たちが懲らしめるという物語

明治の文豪、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲: 1850-1904)の作品は、「化け蜘蛛」、「ちんちん小袴」の他に「お団子ころりん」、「猫の絵を描いた小僧」、「不老の泉」です。1898(明治31)年~1922(大正11)年にかけて出版されたちりめん本の挿絵を担当した鈴木華邨と新井芳宗は当時の著名な画家たちでした。後に5冊をセットにして販売し、大変よく売れたそうです。ハーンは節子夫人から聞いた昔噺を題材にしてこれらを執筆したと思われていますが、これらの他に怪談を英訳したことでも知られています。



英語版 (19.0×13.7cm)  
ラフカディオ・ハーン訳  
1926(大正15)年1月20日発行



英語版 (19.0×13.7cm)  
ラフカディオ・ハーン訳  
1925(大正14)年9月15日発行

## 特別展示コーナー

我が国で最初に和訳されたグリム童話

「ハツ山羊」(狼と七匹の子山羊)

**あらすじ** 狼が母山羊の留守中に、声を変えたり、足の先を白く塗ったりして、子山羊のいる家を襲います。そして、まんまと子山羊を騙して食べてしまいます。難を逃れた子山羊から、事情を聞いた母山羊は、昼寝している狼を見つけ、その腹を裂いて子山羊を助け、その腹には代わりに石を詰めてしまいます。目覚めて水を飲もうとする狼は池に落ちてしまいました。

西洋昔噺第一号に収められている「ハツ山羊」は、明らかにグリム童話の「狼と七匹の子山羊」と同一のもので、題名の数字が「八」に変更されているのは、西洋ではラッキー・セブンと言われるように、「七」が幸運な数字ですが、我が国での幸運な数は末広がり八なので、訳者が日本風にアレンジしたものでしょう。

訳者は我が国の統計学の祖として知られ、明治期に活躍した内閣統計局審査官の呉文聰くれあやとしです。



呉文聰 訳(初版本) (18.1×12.5cm)  
1887(明治20)年9月発行

## 長谷川武次郎コレクションについて

本学の長谷川武次郎コレクションには、弘文社やロンドンのグリフィス・フェアラン社より刊行された「日本昔噺文庫」シリーズのほかに、長谷川武次郎個人が出版人となって、我が国の代表的な昔噺を収めたものです。またアイヌ民話や1896(明治29)年に印刷されたカレンダー・シリーズなども収められています。

長谷川武次郎(1853-1936)は、江戸の商家に生まれました。生家は明治初期に食品の輸入から、英語の教科書まで幅広く商いをしていました。住んでいた京橋と外国人居留地の築地とは隣接していたため、幼いころより外国人に接する機会にめぐまれました。特に、日本語に堪能で日本昔噺に関心のあった米国人のディヴィット・タムソン牧師と出会い、ちりめん本の「日本昔噺」の執筆者となるヘボン博士、チェンバレン、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)らと交友を深めることになります。

長谷川武次郎は、1875(明治8)年に東京商法講習所で近代商業を学び、若い頃より親しんでいた英語とそれまで培った人脈によって、英語の学習用テキストとして、普通の和紙に木版印刷した本(平紙本)を弘文社から出版します。その後、輸出商品用としてちりめん本という、大変美しい本を完成させました。本の美しさのみでなく、居留外国人によって、日本の昔噺や当時の風俗が翻訳されている点においても大変興味深い文庫となっています。

ちりめん本「日本昔噺文庫」(Japanese Fairy Tale Series)は、1885(明治18)年に長谷川武次郎が主幹していた弘文社から刊行されました。当時の我が国を訪れた外国人観光客の土産物として好評であり、英語以外にも、仏・独・西・葡語などの各国語版が出版されました。その後、ちりめん本「日本昔噺」シリーズは、長谷川武次郎より著作権を得て、横浜のケリー&ウォルシュ社から17冊、3ドル50セントで販売されました。

・参考文献: 鳥越 信, 2001. はじめて学ぶ絵本史 I(ミネルヴァ書房), 35-45.



# ちりめん本とは

ちりめん本は、明治の初めから中頃にかけて主に日本の童話や昔噺<sup>むかしばなし</sup>を各国語に訳した小冊子で、長谷川武次郎が発行した本が最も有名です。外国人向けの観光案内書として、当時の生活・風習をはじめ、実的なカレンダーになっているものもあります。小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が英訳したものもあり、児童文学を比較研究する上でも重要な資料として注目されています。

縮緬(ちりめん)は、織物の糸の撚りの関係から、織物の表面に特徴的な凹凸をもち、その独特な手触りをもつ生地の中で、江戸時代の後期にその技術の完成度は高まりました。ちりめんの細工は、ものを大切にすることや美的感覚を養い、手先の器用さを身につける手芸であり、日本女性の教養のひとつとして伝えられてきました。

ちりめん本とは、和紙を特殊加工することによってその縮緬(ちりめん)と同様な感触をつくりあげた多色木版印刷物です。特殊加工とは、和紙に圧力をかけて細かい皺<sup>しわ</sup>をつくりだしたもので、文字は活版で印刷し、背景の絵は木版で多色摺りをしてから圧力をかけます。

このような和紙に印刷された物語は極めて鮮明で、百年以上の年月を経ても劣化しないで伝えられています。

- 会 期：平成14年8月16日(金)～平成15年4月30日(水)  
午前9時～午後5時(休館：毎日曜日・祝日と学業日程による休業日)
- 会 場：聖徳大学 クリスタルホール・ギャラリー
- 入 場：無料

会場への行き方：JR・新京成とも松戸駅下車、東口より徒歩5分

## 学 園 案 内

学校法人 <sup>せいとく</sup> 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL:03-5476-8811(代)

聖徳大学大学院 <共学>

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 TEL:047-365-1111(大代)

聖徳大学 / 人文学部 <女子>

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 TEL:047-365-1111(大代)

聖徳大学短期大学部 <女子>

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 TEL:047-365-1111(大代)

聖徳大学幼児教育専門学校 <女子>

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL:03-5476-8811(代)

聖徳大学附属高等学校 <女子>

〒270-2223 千葉県松戸市秋山600 TEL:047-392-8111(代)

聖徳大学附属中学校 <女子>

〒270-2223 千葉県松戸市秋山600 TEL:047-392-8111(代)

聖徳大学附属聖徳高等学校 <女子>

〒300-1544 茨城県北相馬郡藤代町山王1000 TEL:0297-83-8111(代)

聖徳大学附属聖徳中学校 <女子>

〒300-1544 茨城県北相馬郡藤代町山王1000 TEL:0297-83-8111(代)

聖徳大学附属小学校 <共学>

〒270-2223 千葉県松戸市秋山600 TEL:047-392-3111(代)

聖徳大学附属幼稚園 <共学>

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 TEL:047-368-6135(代)

聖徳大学附属第二幼稚園 <共学>

〒270-0021 千葉県松戸市小金原7-14(小金原団地) TEL:047-341-6598(代)

聖徳大学附属第三幼稚園 <共学>

〒286-0015 千葉県成田市中台3-8(成田ニュータウン) TEL:0476-26-3371(代)

聖徳学園三田幼稚園 <共学>

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL:03-5476-8811(代)

聖徳学園八王子中央幼稚園 <共学>

〒193-0942 東京都八王子市鶴田町1003(めじろ台団地) TEL:0426-64-0972(代)

聖徳学園多摩中央幼稚園 <共学>

〒192-0353 東京都八王子市鹿島1(多摩ニュータウン) TEL:0426-76-0777(代)

セミナーハウス 聖徳学園山中湖荘

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野506  
TEL:0555-62-3111 FAX:0555-62-3112

セミナーハウス <sup>おろび荘</sup>

〒384-2205 長野県北佐久郡望月町春日温泉  
TEL:0267-52-2111 FAX:0267-52-2119

発行 聖徳大学川並記念図書館